

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	つくば市家庭教育支援チーム (呼称:子育て休憩室)
②活動拠点	つくば市民センターコリドイオ
③活動範囲	つくば市内全域
④組織体制	<u>5</u> 人 元民生委員1人、元中学校相談員2人、元保育士1人、他1人
⑤活動開始年度	平成10年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 子育て休憩室 代表 村上 久美子 (TEL)029-857-5771 (E-mail) kumin-39@mail2.accsnet.ne.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) { ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☐ 小学生(低学年) ☐ 小学生(中学年) ☐ 小学生(高学年) ☐ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 乳幼児とその保護者の交流の場「井戸のない井戸端」として開催しています。 ・毎週水曜日 10 時～12 時の間であれば出入り自由です。 ・ママたちのお友達づくりのきっかけの場です。 ・場所守り(ボランティア)は、お母さんたちの橋渡し役と子どもたちをあやしたり遊んだりすること(手遊び・子守歌)によって子育ての楽しさ、また、いざこざの納め方などを自然に伝えるようにしています。 ・子育て経験の先輩として、世間話の中でいろいろな事例を伝えたり、相談を受けたときには一緒に考える時間を作ろうと心がけています。 ・できるだけ季節の行事を話題にし、折り紙などで飾り物を作ることで、楽しみの時間を作るようにしています。 ・年に三回、市の保健センターから保健師・栄養士・歯科衛生士による出前相談を開催しています。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・ボランティアも一緒に育児について話題にする(自分の子育て失敗談など)ことで、周りの人も話題に加わり「一人で悩んでいるのではない」という安心感と仲間意識が生まれ、休憩室以外での交流も深まっていると見受けま - す。 ・休憩室に来ている人が、一人でいる赤ちゃん連れのお母さんを誘ってきてくれることもあり、地域のつながり作りができているように思えることがうれしいです。 ・子どもの育ちの中での発達の不安や様子を聞き、担当機関に繋ぐことや、見守りを行うこともしています。 ・休憩室に来ている方や、卒業した方たちからのお下がり衣服やおもちゃが届き、突発的リサイクル市が開かれることもあり、それが自然な形での思いやりや交流・継続につながっていると思います。 ・休憩室を離れても、お母さん同士たちの交流は続いているようです。また、ボランティアとのつながりも近所の知り合いとしてのつながりが続いています。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☒ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☒ その他の支援により活動を実施 (つくば市こども部こども政策課の「市内子育て支援事業の一環」の位置づけで、交流センター利用の年間予約・利用料金の減免措置を受けている)